

## Ⅱ. 4 疾病・5 事業の指標の解説

# 1 が ん

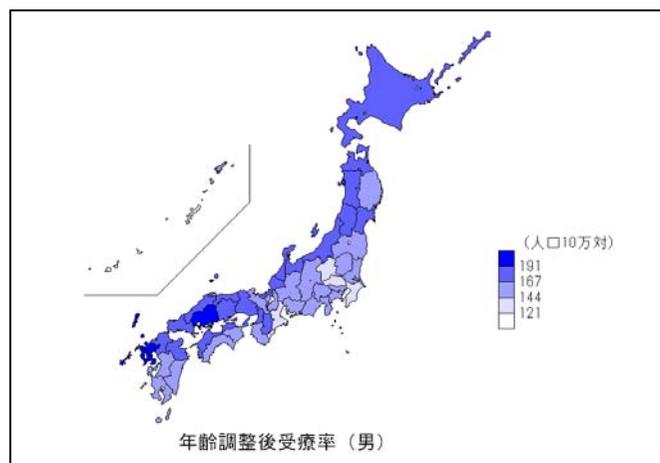
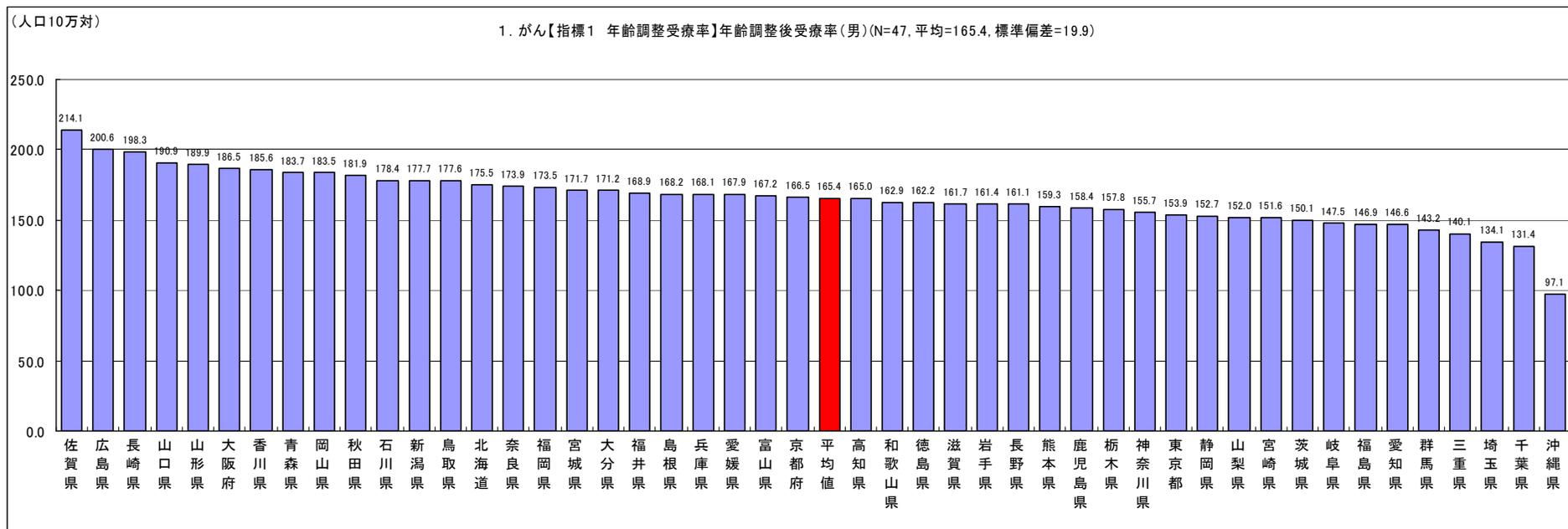
### (1) 「指標」の概要

指標番号	指標名	指標の概要
1	年齢調整後受療率	<p>がん患者が「どのくらい多いか」を見るための指標です。</p> <p>どのくらい多いかを直接的に示す「罹患率」を全国一律に把握することが困難であるため、代替的に受療率を把握します。</p> <p>なお、受療率は年齢構成による影響を受けるため、都道府県比較に適するように年齢調整を行います。</p> <p>がん患者は少ないほどよいので、本指標は低いことが望ましいといえます。</p> <p>今回の調査では、データ収集上の制約もあり、共通に把握すべき必要最小限の指標としてがん全体の受療率を把握するものとしています。ただし、都道府県の医療計画策定において、がんの部位別など追加の指標を把握することを制約するものではありません。</p>
2	検診受診率	<p>「どのくらい関心があるか」を見るための指標です。</p> <p>がんに対する関心が高い人は、検診を受診したり、食事などの生活習慣を気遣うことが多いと考えられます。ここでは、関心の高さを反映する指標として、検診の受診率を把握します。また検診の受診率は、がんの予防（早期発見・早期治療）の観点からも重要な指標と言えます。</p> <p>多くの人のがん検診を受診することが望ましいので、本指標は高いことが望ましい指標です。</p>
3	精密検査受診率	<p>「どのくらい関心があるか」を見るための指標です。</p> <p>検診後に要精密検査と判定された人の精密検査受診率を把握します。基本的な考え方は指標2がん検診受診率と同様です。</p>
4	喫煙率	<p>「どのくらい健康に留意しているか」を見るための指標です。</p> <p>ハイリスク群の減少を指標として把握することが困難なので、喫煙とがんの間には密接な関係があるとされていることを踏まえ、がんの予防の観点から、健康への留意の状況を反映した指標として、喫煙率を代替的に把握します。</p> <p>喫煙者は少ないことが関心の高さを反映していると考えられることから、本指標は低いことが望ましい指標です。</p> <p>健康増進計画にも指標として位置付けられている指標であり、将来的には当該計画上の数値と整合を図ります。</p>
5	医療機能情報公開率	<p>「どこに行ったらよいか」を見るための指標です。</p> <p>病気になったときにどの病院を受診したらよいか分かるように、医療機関の情報が誰でもすぐに入手できることが求められます。ここでは、医療機関情報提供の度合いを反映した指標として、都道府県や医師会等の職能団体によってインターネット上で情報が公開されている医療機関の割合を把握します。</p> <p>本指標は高いことが望ましい指標です。</p>

指標 番号	指標名	指標の概要
6	退院患者平均在院日数	<p>「どのくらいで日常生活に戻れるのか」を見るための指標としては、総治療期間を把握することが望ましいのですが、代替的に入院期間を反映した指標として、がん（悪性新生物）の患者の平均的な入院期間（日数）を把握します。</p> <p>がんの種類によって、また地域の医療・介護資源の状況によっても必要な入院期間は異なることから、本指標を全国で一律に比較することは困難ですが、近隣の地域間での比較あるいは経時的変化を見ることで、地域の医療の状況を評価する材料になりえると考えられます。</p> <p>今回の調査では、データ収集上の制約もあり、共通に把握すべき必要最小限の指標としてがん全体の平均在院日数を把握するものとしています。ただし、都道府県の医療計画策定において、がんの部位別など追加の指標を把握することを制約するものではありません。</p>
7	在宅看取り率	<p>「亡くなる場所を選べるか」を見るための指標です。</p> <p>住み慣れた自宅で死期を迎えるためには、地域の医療機関をはじめとする専門職・専門機関のサポートが必要とされ、希望してもなかなか実現されないケースが多いと言われています。亡くなる場所を選べるかどうかを見るための指標として、在宅での看取りの割合を把握します。</p>
8	年齢調整死亡率	<p>「どのくらい亡くなるのか」を見るための指標です。</p> <p>ここでは、がん（悪性新生物）で亡くなる方の人数を反映した指標として、「死亡率」を把握します。</p> <p>なお、死亡率は年齢構成による影響を受けるため、都道府県比較に適するように年齢調整を行います。</p> <p>今回の調査では、データ収集上の制約もあり、共通に把握すべき必要最小限の指標としてがん全体の平均在院日数を把握するものとしています。ただし、都道府県の医療計画策定において、がんの部位別など追加の指標を把握することを制約するものではありません。</p>

## (2) 「指標」の結果一覧

### ・ がん-1 年齢調整受療率



- ・ 「どのくらい多いか」を見るための指標として用いています。
- ・ 佐賀県が最も高く、沖縄県が最も低い結果です。平均値は165.4。標準偏差は19.9です。
- ・ 地域的な傾向は見られませんが、沖縄県が特に低くなっています。